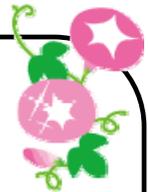




ご家族・お友達をお誘いのうえ お気軽にご来館ください!



子ども地震講座

「あなたも“地震”博士! ~地震はなぜおこるの?~」

7月28日(木) 10:30~12:00

講師 沼津市危機管理課職員
 場所 4階視聴覚ホール
 内容 地震や津波の危険性や対策について、映像を通し学びます
 対象 小学生 定員 100人(保護者同伴可) 参加料 無料
 申込み 7月7日(木) 9:30から電話にて受付

夏休みわくわく図書館

8月4日(木) 午前の部 10:00~12:00 / 午後の部 13:00~14:30

場所 4階講座室・視聴覚ホール
 内容 人形劇・おはなしの部屋・工作の部屋・展示の部屋・体験コーナー
 共催 ぬまづ子どもの本を学ぶ会
 申込み 当日直接会場へ(先着200人)

夏休み企画展「きみのほんみつけた?」

7月23日(土)~8月21日(日)

4階展示ホールにて 幼稚園・学校・地域の読み聞かせボランティアによる展示です
 共催 ぬまづ子どもの本を学ぶ会

ビデオ上映会

場所 4階視聴覚ホール 定員 200人

子ども向け 14:00~

7/26(火) 「川の光」(75分)
 8/2(火) 「鉢かづき姫」(34分)・「よっちゃんの不思議なクレヨン」(22分)
 8/9(火) 「しまふくろうのみずうみ」(15分)・「夏服の少女たち」(34分)
 ※大人向けは節電のため、秋に開催予定です

◎広報ぬまづ・館内ポスター・チラシ等もあわせてご覧ください
 ◎駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください



図書館カレンダー

平成23年 7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

平成23年 8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成23年 9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ …休館日

開館時間 火・水・木・金 …… 午前9時30分~午後6時30分
 土・日・祝日・振替休日 …… 午前9時30分~午後5時

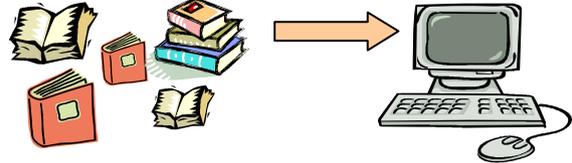
※節電のため、7月1日(金)から9月30日(金)まで、金曜日の閉館時間を18時30分に変更します。

電子図書館モニター実施のお知らせ

この度、沼津市立図書館は、静岡県立中央図書館の電子図書館閲覧モニター館となります。期間中は、館内のインターネットパソコンから電子図書館の所蔵資料が閲覧できますので、どうぞご利用ください。

○電子図書館とは…

電子図書館とは、書籍のような紙媒体の資料がデジタルデータ化された後、インターネット上の図書館の所蔵資料として集積され、それらの資料をパソコンの画面で閲覧できるサービスです。



○電子図書館の所蔵資料は…

夏目漱石や太宰治等、近現代文学作家の作品や静岡県内の郷土資料を合計約130冊所蔵しています。
(平成23年 6月 3日現在)
※電子図書館モニター実施期間中に所蔵資料の内容や数に変更が生じる場合があります。

○電子図書館モニター実施期間及び設置場所…

期間 平成23年7月22日(金)から平成23年10月30日(日)まで

設置場所 沼津市立図書館2階インターネット閲覧コーナー

○利用方法は…

沼津市立図書館2階のカウンターまでお越しください。申請用紙に記入の上、ご提出願います。
※利用に際しての操作方法は、利用申請時に職員が説明いたします。

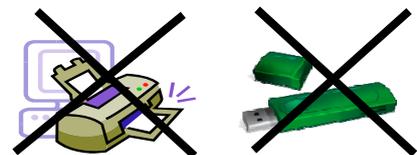
○利用のための申請に必要なものは…

沼津市立図書館の利用者カード、又は運転免許証や保険証等の公的な身分証明書



○利用上のご注意…

- ・沼津市立図書館2階のインターネット閲覧コーナーのパソコン4台のうち1台が電子図書館モニターに対応しており、インターネットパソコンとの兼用となっています。
- ・一人につき1日1回、1時間以内でご利用いただけます。電子図書館モニター対応パソコンを他のお客様が利用中の場合は、順番待ちとなります。
- ・続いて利用を希望する方がいない場合には、1回1時間まで延長が可能です。
- ・利用時間は、開館時間から閉館5分前までです。
- ・閲覧のみのご利用です。それ以外のページのプリントアウトやUSBメモリーのようなお手持ちのメディアの使用等はできません。



○その他…

- ・利用後、アンケート用紙への記入をお願いします。
- ・試験的な取り組みのため、運用方法を変更させていただく場合があります。

本はともだち

大人になる前にぜひ、読んでおきたい本



大人になってから子どもの頃に大好きだった本を読んでみると、その本を読んだ時の気持ちや、自分を取りまいていた景色なども一緒に思い出されます。まるで、大好きだった友だちと楽しく遊んだ時のことのように。

児童書の物語には、その本を読むのに最適な時期(年齢)というものがあるように思います。それには個人差があるので、一概に「何歳から何歳まで」と言うことができないのですが、残念ながら、大人になってから読むと、子どもの時に感じたこととは違うことを感じます。それはそれで、楽しいものですが、子どもの時に読めなかったことは、決して取り戻すことのできない忘れものをするようでもあります。ぜひ、お子さんが子どもでいるうちに、たくさんの素敵な物語に出会う機会を与えてください。

今回は小学校の3～4年生の皆さんに是非読んでいただきたい本を少しご紹介します。

がんばれヘンリーくん

ベバリイ＝クリアー作 松岡 享子／訳 学研

ヘンリーくんは小学校3年生の男の子。ある日、やせ細った1匹の犬と出会います。自力で連れて帰ることができたら、家で飼ってもいいと言われて…。ヘンリーくんの気持ちがストレートに伝わるこのおはなしは、長い間支持されるのも納得の1冊です。



やかまし村の子どもたち

リンドグレーン／作 大塚 勇三／訳 岩波書店

やかまし村は家が3軒きり。子どもは男の子と女の子が3人ずつ。豊かな自然の中で、大人たちの愛情に守られて、楽しく遊んだりけんかをしたりしながら、子どもたちは大きくなっていきます。『長くつ下のピッピ』で有名なリンドグレーンの作品です。



チム・ラビットのぼうけん

アリソン・アトリー／作 石井 桃子／訳 童心社

チムは好奇心旺盛なかわいい子うさぎです。そのチムをめぐる9つのおはなしです。自分で読むのなら小学校の3～4年生くらいがよいと思いますが、読んであげるのなら、年長さんくらいから。また、お母さんが読んでも楽しいおはなしだと思います。



みどりのゆび

モーリス・ドリュオン／作 安東 次男／訳 岩波書店

裕福な家に生まれたチトが庭師のムスターシュおじさんに出会い、自分の親指がみどりのゆびであることを教えられます。大人が読むとこの本は、少し深い内容に感じられますが、子どもは素直に、チトの思うこと、したこと、共感するのではないかと思います。



ご紹介した本のほかにも、良い本がたくさんあります。一生、心に残るような本に、たくさん出会えるようにお手伝いします。是非、児童カウンターでご相談ください。



おはなしフェスティバルが6月11日(土)に開催されました

今年も、読みきかせのボランティアさんのご協力により、おはなしフェスティバルが開催されました。たくさんの方々のご参加、ありがとうございます。次回は12月10日(土)の予定です。

海水浴について調べてみました!

～レファレンスコーナー～

暑い夏までもう少しですね。夏というと海水浴を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。今回は、この海水浴について調べてみました。

海水浴の由来は・・。

現在のような海水浴の歴史は意外と浅く明治に入ってからです。日本は、四方を海にかこまれた島国ですが、浜辺は、昔は漁師や船乗りなど水上で食料などを得る生活の場、とみるのが一般的でした。ただ、一般の人が海で遊ぶことが無かったわけではなく、潮干狩りなどは行われていたようです。

それ以外では、宗教儀式の一環として、身を清めるためや病を持つ人が療養のために浸る程度でした。

現在では、海水浴という字は、「かいすいよく」と誰もが読みますが、明治中期まで、「うみみずゆあみ」と読み、波打ち際で身体を波に当てて病気を治す潮湯治(しおとうじ)と呼ばれる民間療法の一つでした。

海水浴の変化・・。

今日のような海水浴になったのは、有識者や外国人の影響などもあり明治中ごろからで、次第に海水療法から現在の遊泳や余暇活動といった色彩のものに変わっていき、読み方も次第に「かいすいよく」という読みになっていきました。各地で海水浴場が設けられていき、最も身近な夏のレクリエーションへと発展していきました。

海水浴はもともと海水療法からはじまったものなので、海辺の新鮮な空気や日光浴、水泳による運動効果などにより健康上の効果は大きいといわれています。

沼津市内にも、市街地から一番近い「千本浜海水浴場」、御用邸記念公園近くの「島郷海水浴場」、白い砂浜で有名な西浦の「らららサンビーチ」、戸田には「御浜海水浴場」など、たくさんの海水浴場があります。

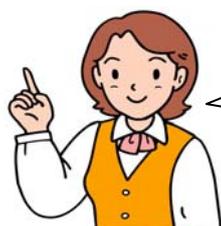
みなさんも、海水浴に出かけたらいかがでしょうか。

このような、調べ物のお手伝いをするサービスのことを図書館ではレファレンスサービスといいます。図書館では、本の貸出・返却以外にもこのようなサービスも行っていますのでご利用ください。

※参考文献

『日本大百科全書』 小学館

『海水浴と日本人』 中央公論新社



図書館からのお願い
図書館の本はみんなのものです。借りたい本が返却されるのを楽しみにして待っている人たちがいます。
みなさん、本の返却期日は必ず守りましょう!